

2016 SIRシンポジウム

～パラダイムシフトの発想～

公益社団法人知財登録協会（SIR）は、公益目的事業である知財に関する調査研究啓発活動の一環として、「パラダイムシフトの発想」と題するシンポジウム（講演会）を行います。ノーベル賞受賞者中村修二教授をお迎えして、イノベーション並びにその成果である知財情報の保護活用等について、一般市民及び大学関係者に対して意義深い啓発を行います。

日時

2016年9月30日（金）13:00～16:40

会場

大阪大学吹田キャンパス 銀杏会館 3Fホール

交流会

銀杏会館2Fミネルバ（参加費 5000円、定員 50名）

定員250名
参加費無料

【主催】 公益社団法人知財登録協会（SIR）

【後援】 大阪大学21世紀懐徳堂、一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）関西支部、グローバル人材育成センター（G-JIC）、株式会社ファイン、株式会社オクト



玉井誠一郎先生

SIR 会長（兼）理事長



徳増有治先生

大阪大学大学院
医学系研究科特任教授



中村修二先生

カリフォルニア大学
サンタバーバラ校・教授
2014年ノーベル物理学賞受賞



加納剛太先生

京都工芸繊維大学客員教授
高知工科大学名誉教授



吉田繁治先生

Systems Research 代表
経営コンサルタント

プログラム

〈シンポジウム〉

司会進行：小西ゆかり JEITA 関西支部事務局長

13:00～13:40

主催者ご挨拶&

講演1：「知財パラダイムシフト」

玉井誠一郎 SIR 会長（兼）理事長

13:40～14:30

特別講演：「ノーベル賞の発想」

中村修二 カリフォルニア大学教授（2014年ノーベル物理学賞受賞、文化勲章受章）

14:30～14:40 休憩

14:40～15:20

講演2：「起業工学とは（イノベーションとパラダイムシフト）」

加納剛太 高知工科大学名誉教授（Symetrix Corporation取締役、IEEEフェロー）

15:20～16:00

講演3：「医療・健康分野におけるイノベーションの実現に向けて」

徳増有治 大阪大学大学院医学系研究科特任教授

16:00～16:40

講演4：「日本経済のパラダイムシフト」

吉田繁治 Systems Research 代表

（東大仏哲学出身、「ビジネス知識源」有料メルマガ日本一の発行者）

〈講師等との情報交流会〉

17:00～

银杏会館2Fレストランミネルバ

（参加者数によっては中止することがありますのでご承知おきください。

中止の場合は、1週間前までに参加申込者にメールで通知します。）





公益社団法人
知財登録協会 (SIR)

(The Society of Intellectual Registration & Revolution 旧名:知財ブランド協会)

Vision & Mission

知財パラダイムシフト(知財革命)の先導



SIR知財啓発シンポジウム2016

知財パラダイムシフト

～知財幻想からの覚醒～

(内容)

はじめに 世界観(経営観)を持つ

1. 知識経済社会における無形資本(知財情報)の重要性
2. 知財には2種類ある(出願知財と非出願知財)
3. 出願一辺倒の知財パラダイム(知財の現状と幻想)
4. 知財パラダイムシフトをおこす(新しい知財モデル)
5. まとめ

平成28年9月30日
大阪大学銀杏会館



公益社団法人 知財登録協会(SIR)

会長(兼)理事長 玉井 誠一郎(学術博士)

世界観（羅針盤・目指す方向）

世界の調和ある繁栄

共存共栄

（私益と公益のバランス：大和心）

天は自ら助くるものを助すく

自助精神

（隷属への道から脱却：自から守る）

パラダイム(規範)シフト(転換)とは



パラダイムシフトの提唱
(科学は非連続に発展)

インクリメンタルではなく非連続(革命的)!

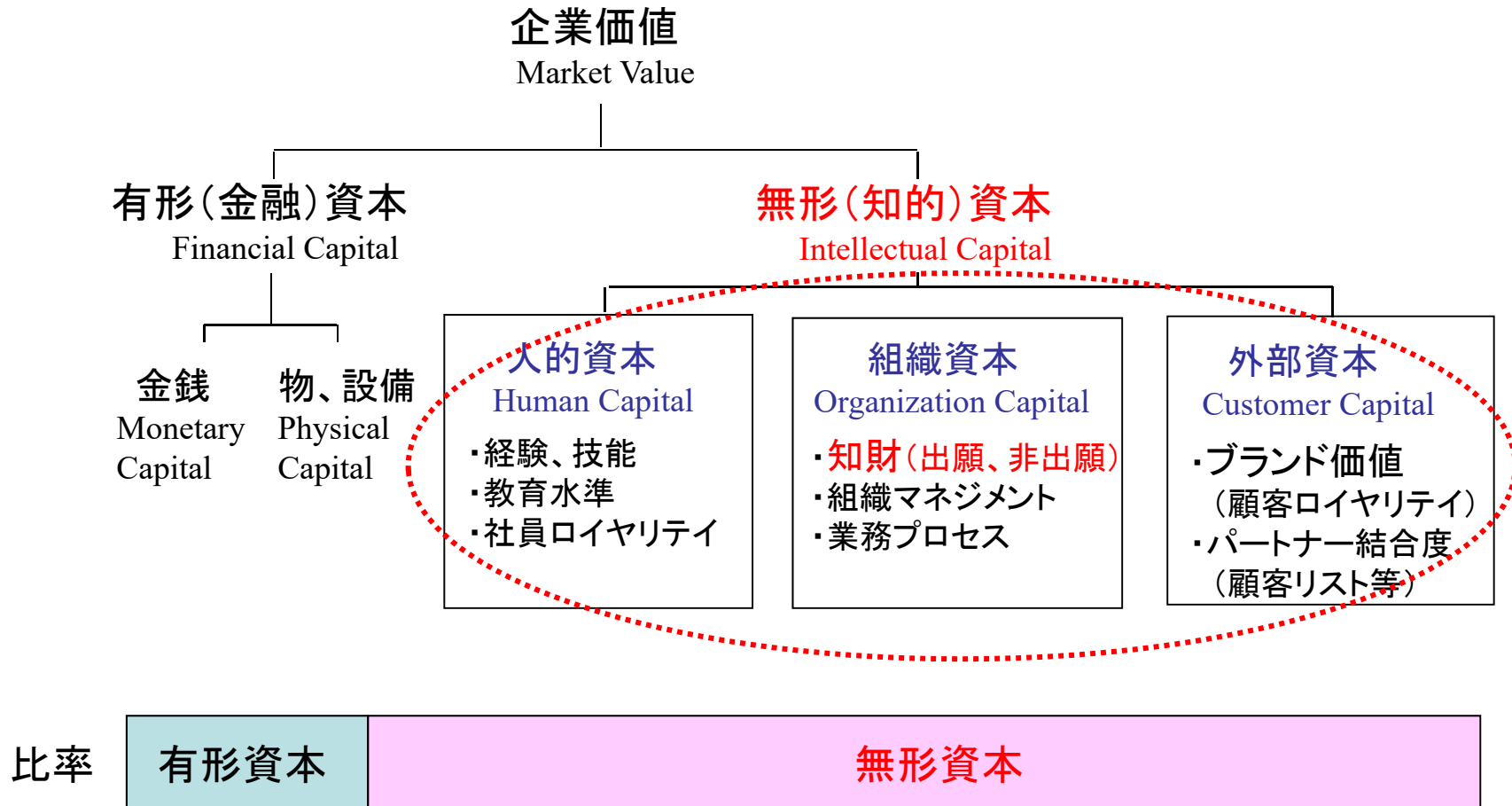
現在の知財パラダイム

開発すれば、まずは(特許)出願という

出願パラダイム

知識経済社会(情報社会)の到来 ~企業価値の構成~

知識が価値や競争力の源泉になる社会 P、F、ドラッカー (断絶の時代)



知財は、利益獲得手段(利益のドライバー)として最も重要な無形資本

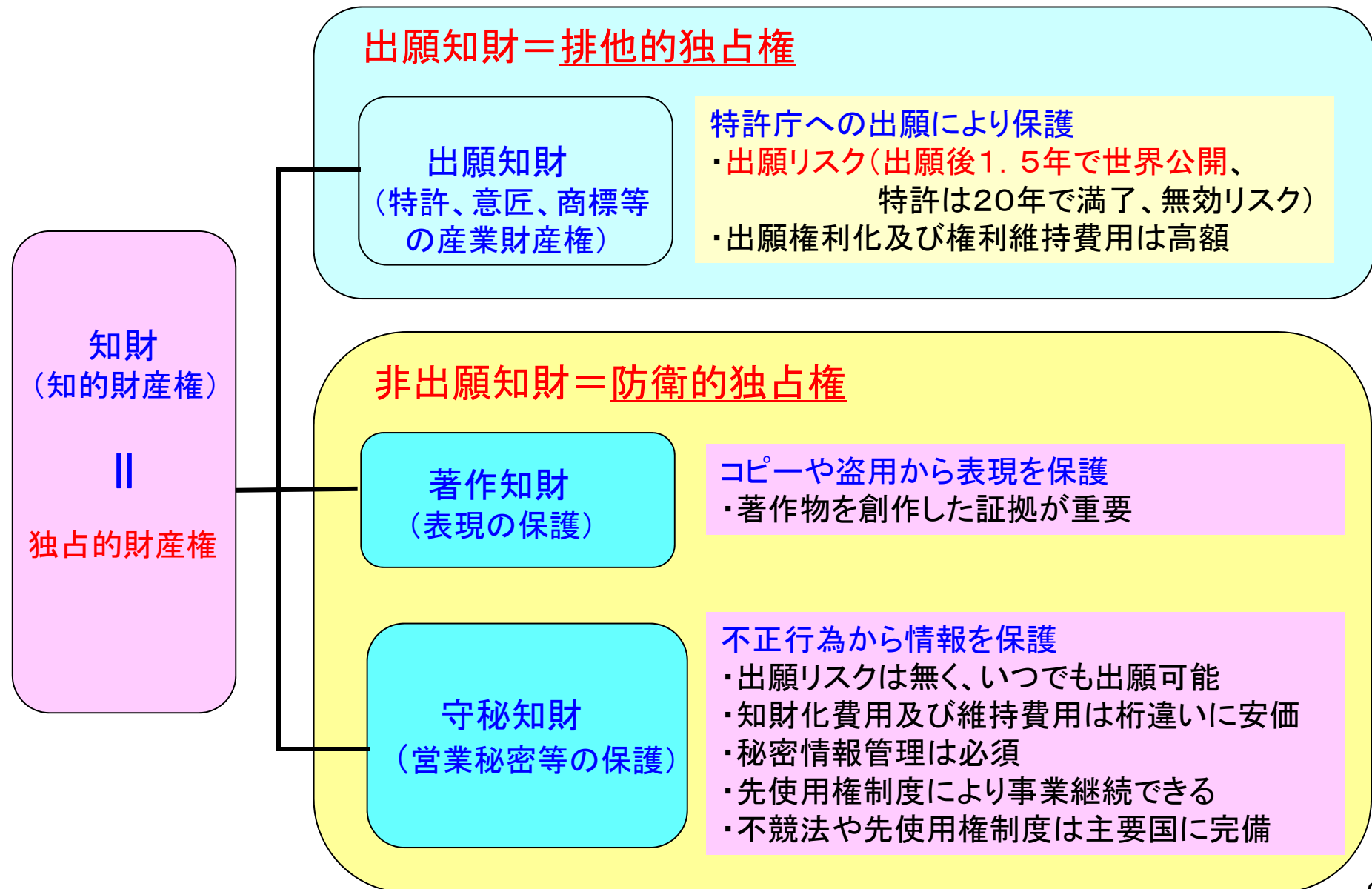
日米の産業競争戦略：知財戦略

- 米国 合衆国憲法第1条に知財保護を明記、知財侵害には極めて敏感
 - ・1980年代：レーガン政権時のヤングレポート(知財強化戦略：プロパテント)
 - ・世界の特許裁判の90%が米国(損害賠償額や裁判費用は桁違いに高い)
 - ・産業(情報)スパイは、国家優先度では、対テロに次いで第2位に位置付け
 - ・民事(差し止め+損害賠償)に加え、刑事罰(懲役20~30年)

- 日本 2002年小泉政権時に知財立国政策開始(荒井元特許庁長官が仕掛人)
 - ・知財の創造・保護・活用という知的創造サイクル(PDCA)を理念とする国家戦略
 - ・知財基本法の制定：営業秘密の保護強化や知財高裁の設置等
 - ・毎年1000億円以上の予算をつけ現在も推進中だが、理念目標には程遠い
 - ・2015年荒井元長官らが『知財立国が危ない』という警鐘本出版
 - ・国内出願市場は1兆円、国内特許件数160万件の大半休眠

出願パラダイムにご用心 ~ 隷属への道 ~

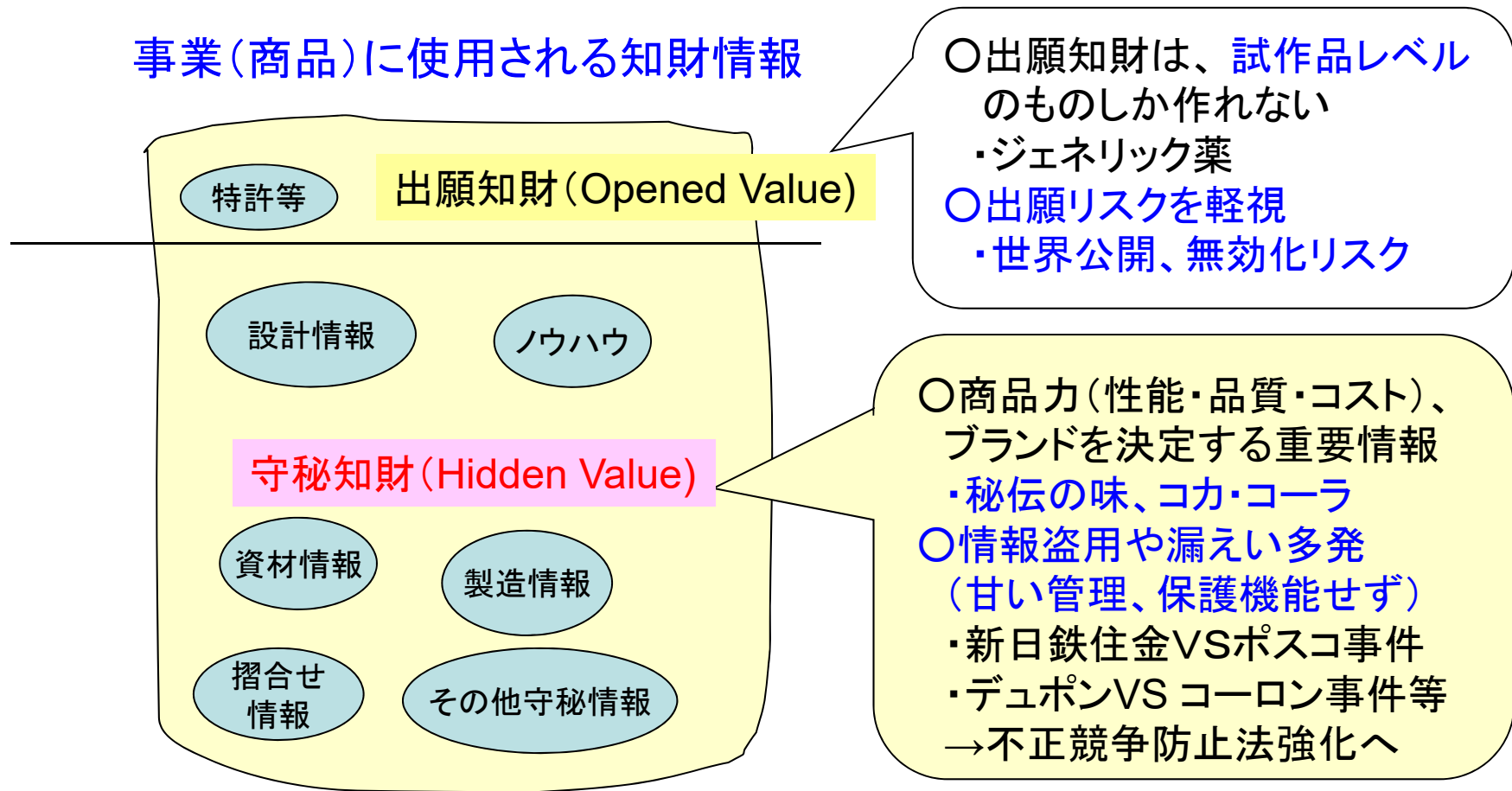
知財 = 出願知財 + 非出願知財 ~この考え方が欠落、非出願知財を軽視~



守秘知財(非出願知財)は、商品力(性能・品質・コスト)の要

出願知財と非出願知財のポテンシャル比は、1:99

事業(商品)に使用される知財情報



IBMの戦略: 出願知財は公開(デファクトにして事業拡大)、守秘知財で独占

出願知財と守秘知財の比較

	出 願 知 財 (特許の場合)	守 秘 知 財 (設計・ノウハウ等)
特 徴	絶対的排他独占権 (実体商品に関係なく権利のみの行使可)	防衛的排他独占権 (実体商品に即した不正行為の防止)
法 律(準拠法)	特許法	不正競争防止法 特許法第79条(先使用权)
権利行使力	差し止め+損害賠償	差し止め+損害賠償+刑事罰(懲役)
保護期間	出願から20年	制限無し(公開するまで永久)
出願及び登録・維持コスト	大 (数十万円～)	小 (千円～)
権利行使コスト	大(侵害調査・裁判費用は出願費用の数 十倍以上、米国では数億円かかるが、 中小企業や大学は担保困難)	小 (警察の協力が得られる等)
リスク	・出願後1.5年で世界公開(公開リスク、 出願していない国では権利行使不可) ・無効化リスクや開発のヒントを与える	特にリスクなし (先使用权への対応)
その他	営業秘密管理が別途必要	開示していないのでいつでも特許出願可
総合評価	△	◎

知財マネジメントの要諦は 守秘知財 にあり

知財の現状：出願パラダイム(＝知財幻想)

幻想1. 特許をとれば事業を守ってくれる！

現実：自ら守るのであって、誰も守ってくれません。

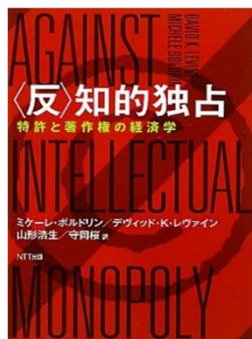
守るための裁判費用の確保や出願リスクがあることを理解しているか？
特許だけでは事業を守れない。守秘知財の保護活用が必須。
米国製薬業界の事業防衛手段第1位は、守秘知財で特許は第3位。

幻想2. 特許品質は審査制度によって確保されている！

現実：特許審査は不可能で、特許庁は品質責任(知財PL)を一切取りません。
本日配布のNewテクノマート『創』誌、19号24～25P参照
特許裁判における権利者の勝率は3割以下。不良・不正特許が多い。

幻想3. 特許制度は産業振興に貢献する！

現実：特許制度によって産業振興が促進された事実は無く、むしろ阻害している。



学術研究書籍『反知的独占～特許と著作権の経済学～』によって
検証済み。

現在の知財制度は、知財業界のための制度であって、
抜本的な修正を必要とする！

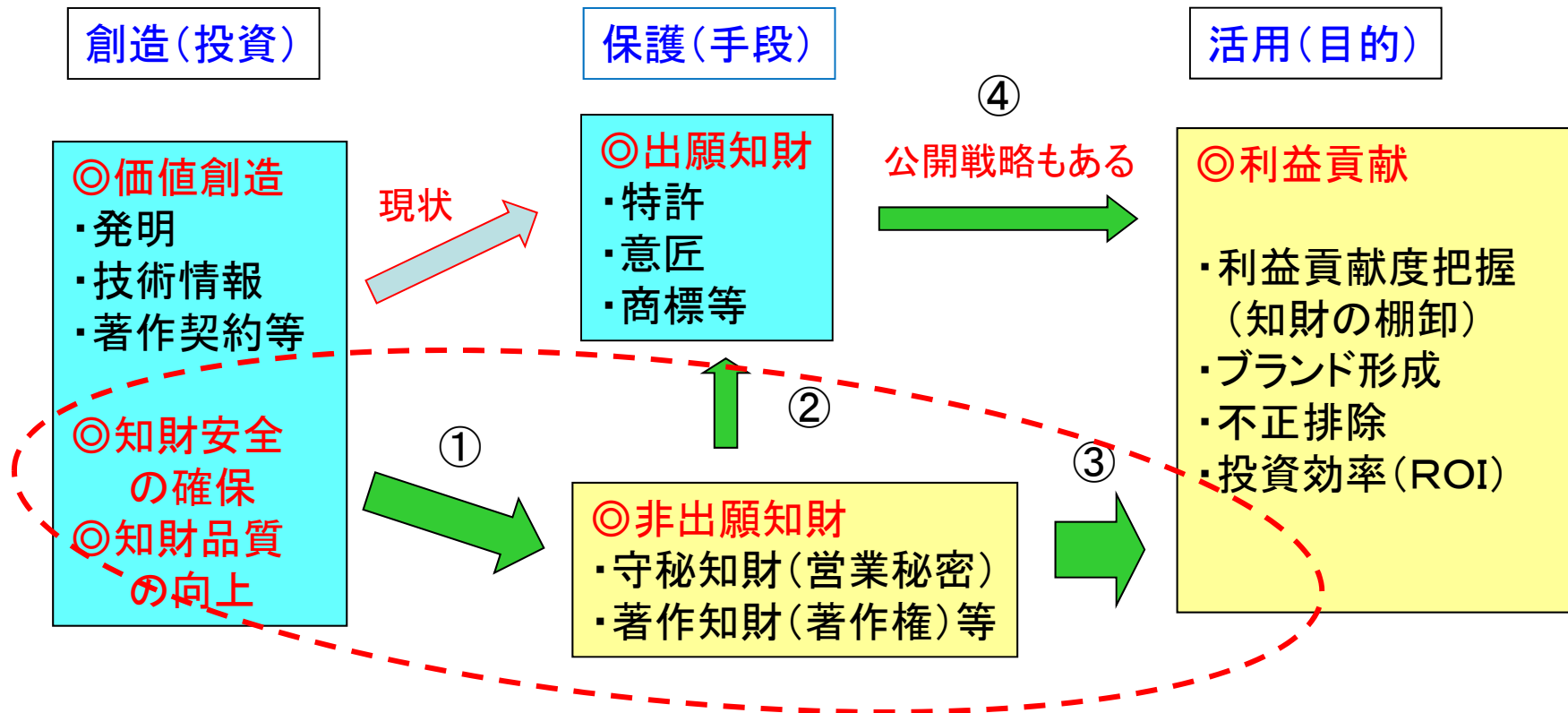
知財パラダイムシフト

知財は、事業・商品の利益の源泉 (知財なくして事業なし)

出願パラダイムから脱却!
(大量出願で事業を守る戦略)



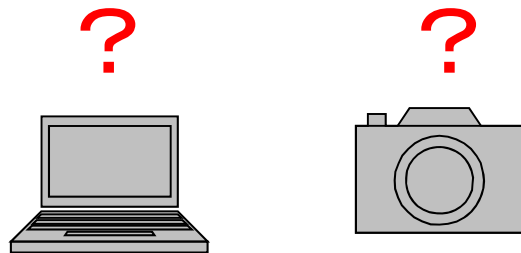
非出願パラダイムへ
統合知財戦略及び
知財ブランド戦略へ進化



知財ブランドモデル(SIRモデル)とは

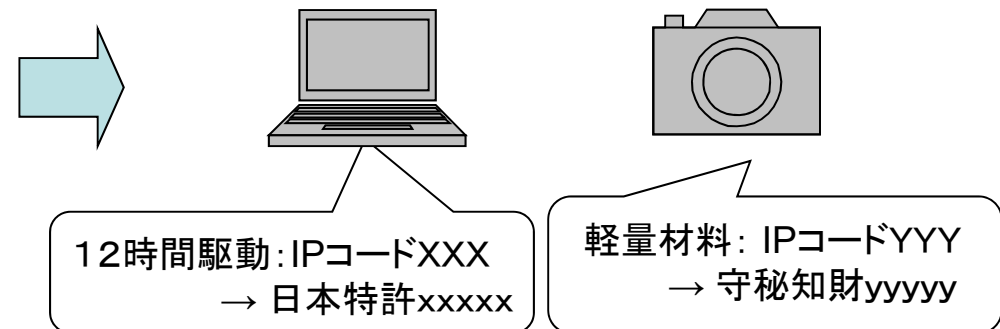
知財使用商品(守秘知財を含む)であることを知財登録情報(IPコード等)で表記し、知財によるブランド形成を図るモデル

商品に使用している知財が不明
(知財と商品を別管理)



- 知財が商品利益に直結しない
- ニセモノ対策・技術流失の防止・国民の知財意識の向上が困難
- 知財立国の理念である知的創造サイクルが廻らない

商品価値を担保する知財を
知財(IP)コードを用いて開示



従来の課題を解決

知財(IP)コードの表示例



SIR 知財登録認証番号
(知財(IP)コード)
G3920000101000095

知財(IP)コード登録事例：健康食品への実施例

健康で長生きのために
米由来のIP6、イノシトール配合

540粒

【イノシトールと
穀物、豆、フルーツ、野菜類
るイノシトールは、古くから
で玄米のビタミン様物質(ビ
して知られています。IP6と
を組み合わせたファインIP6
大切な成分です。
栄養補給などにお
役立てください。

株式会社ファインは産学連携に賛同し、大阪大学構内
にファインバイオサイエンス研究所(FBIC)を設け、
新素材の開発や機能研究を積極的に進めています。

【IP6とは】
IP6(別名フィチン酸)は、イノシトールにリン酸が結合することによってできる、リン酸化合物の一種でビタミンB群の仲間です。米糠や小麦ふすまに多く含まれるIP6は、通常精米などの工程において取除かれてしまいます。IP6は、栄養価の高い植物由来の成分として米国の大学などで盛んに研究されています。

栄養成分表示 6g

エネルギー
たんぱく質
脂質
炭水化物
食塩相当量
ナイアシ
イノシトール

SIR 知財(IP)コード
G392000101000095

4 976652 009154

本日展示
炭酸水素イオン水
にも表記

このQRコードには、
知財概要や商品概要
情報のURL(飛び先)
が格納され、これを
読むことで、情報に
アクセスできます。

また、商品コードとも
紐つけされているので
商品コードを入力しても
商品使用の知財や商品
情報を知ることができます。(但し、守秘知財は名称と開発者名のみ開示)

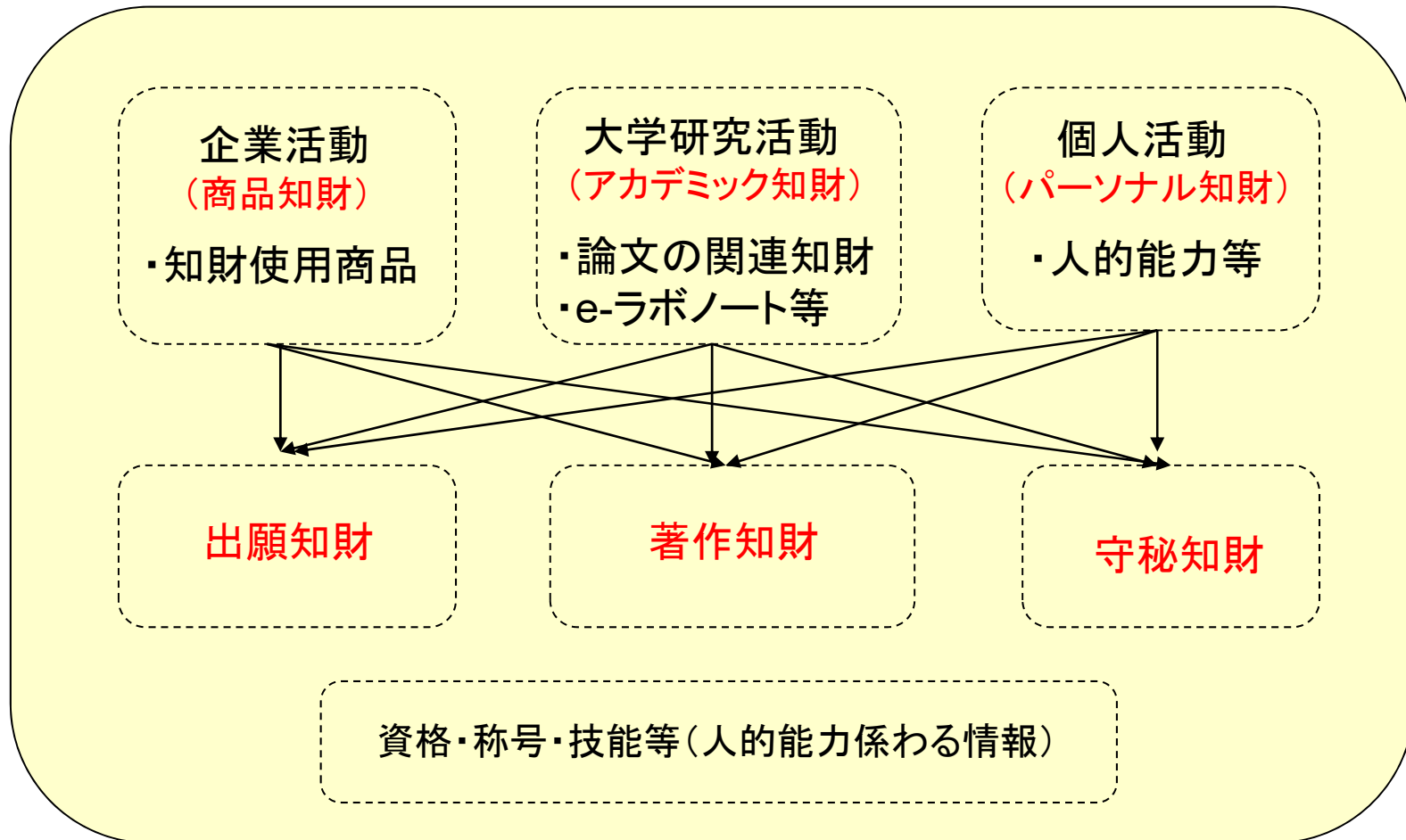
IPコードの表記により
知財使用商品として
ブランド・利益の獲得
に活用できます。
表記は任意です。

SIRの提唱する知財(IP)コードの構成は、知財の種別(1桁)、国コード(3桁)、企業コードもしくは
会員コード(7桁)、情報コード(5桁)、C/D(1桁)の17桁で、世界に対応できる仕組みを持ちます。

知財登録の種類と内容～知財情報預かり(知財バンク)・活用サービス～

全てのデジタル情報(文書、図面、写真、音声、映像)を対象に
知財登録、タイムスタンプ押印、電子認証、秘密情報管理実施

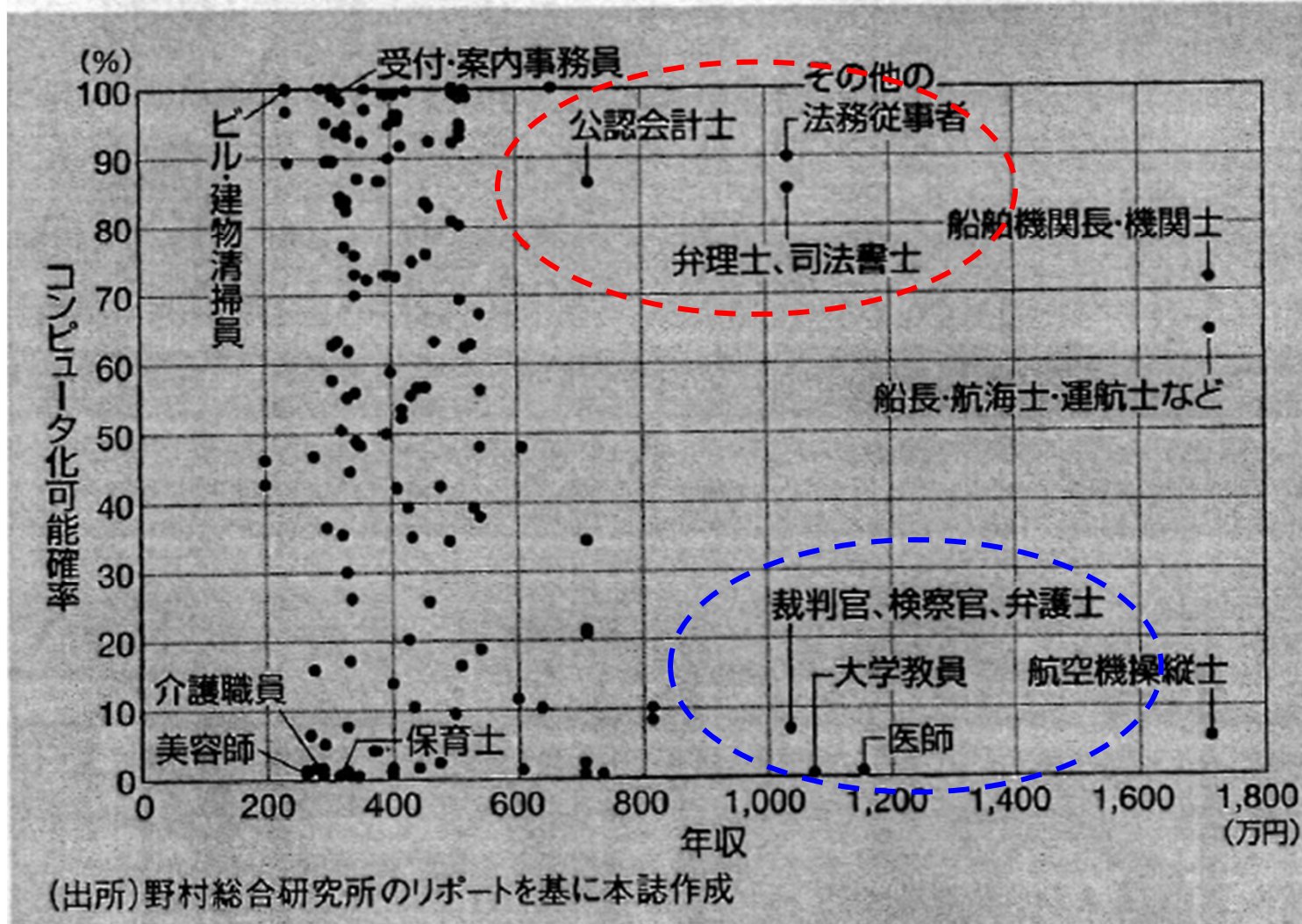
知財バンク(IPB)サービスの対象情報



AI(人工知能)の衝撃～協会の研究ターゲット(知財品質向上)～

■ 高収入の業務でもコンピュータが代替

— 職種ごとの平均年収とコンピュータ化可能確率の分布図 —



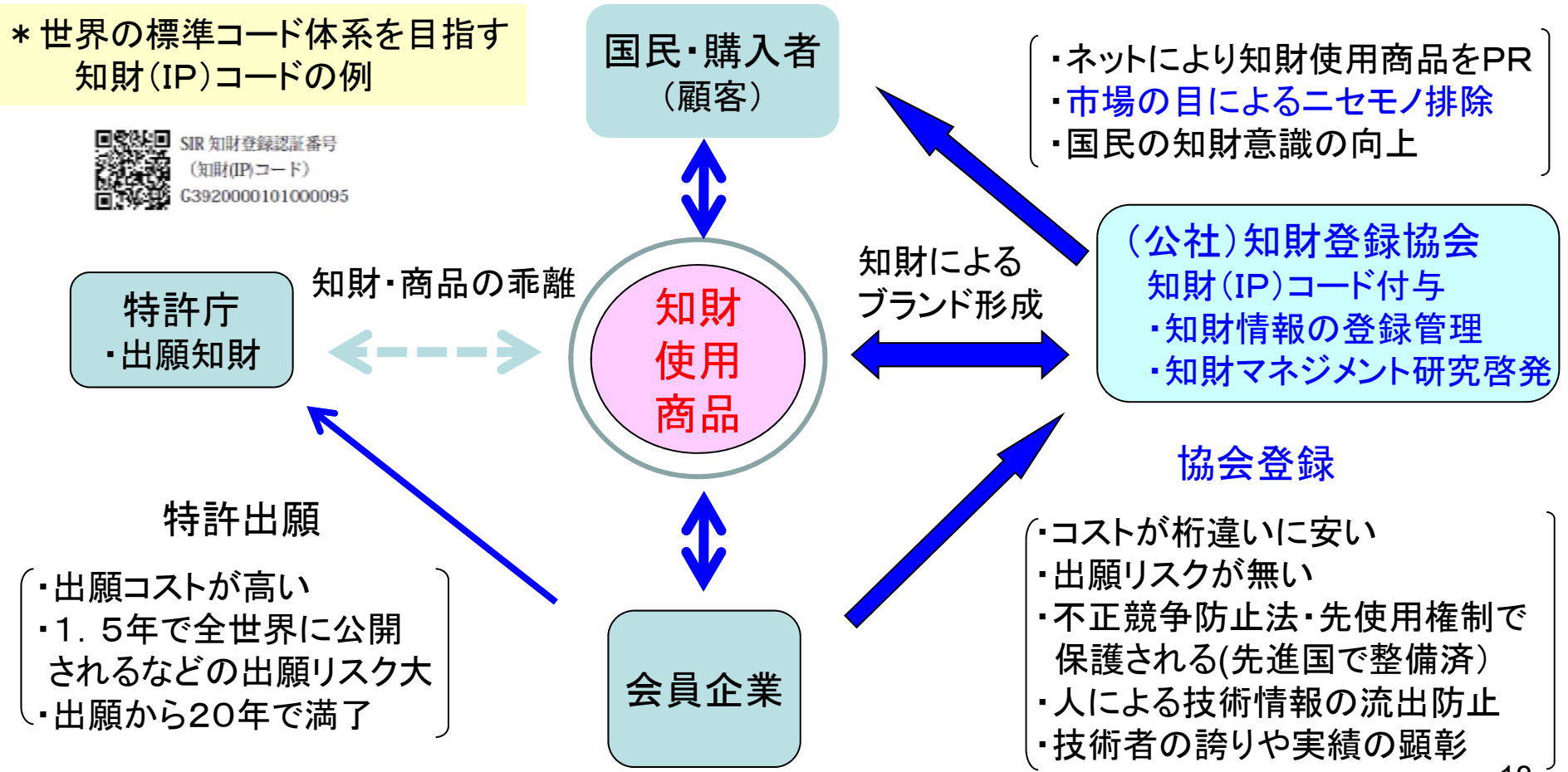
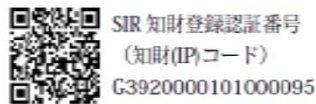
(出典:週刊東洋経済2016.2.20号)



公益社団法人 知財登録協会 (SIR)

- ◎知財情報登録サービス(知財コード付与、商品コード等と紐付け可)
- ◎知財情報預かり管理サービス(知財バンク:IPB、数千円/1件・年)
- ◎知財情報活用サービス(知財係争、ライセンス交渉等のサポート)
- ◎国民の知財意識向上・知財マネジメント研究等による知財立国実現

* 世界の標準コード体系を目指す
知財(IP)コードの例



まとめ

非出願知財へのパラダイムシフト

開示知財(特許)は、イノベーションを阻害するが、
守秘知財は、事業防衛と知財共存を実現する。

協会(SIR)は、知財パラダイムシフトを先導するため、

◎知財情報登録認証預かりサービス:知財バンク(IPB)

◎知財制度及びマネジメント改革:知財イノベーション学会(IPI)

の創設等を通じて、公正・共存共栄社会の実現に貢献します。

追加メッセージ

○参考書の紹介

- ・知識経済社会を生き抜くための知財に関する体系的且つ実践的な教養書&教科書です。

好評発売中！ (社)日本図書館協会 選定図書
日本知的財産協会(JIPA) 紹介図書

『知財インテリジェンス』

大阪大学出版会、320ページ、税抜き 2,000円

電子書籍は、 <http://www.shinanobook.com/> 税込 1,000円

姉妹書として、『知財戦略経営概論』(日刊工業新聞社刊) 税抜き 3,000円

○協会HPに、近時の新聞・放送機関で報道された有用情報があります。

<http://www.ipbrand.org>

◎知財相談や入会などに関するお問い合わせは下記メールで受け付けます。

staff@ipbrand.org

